

<b>授業科目名</b>	生徒指導・進路指導論 B (中等) (2100238)		
<b>時間割名</b>	生徒指導・進路指導論 B (中等) (70104)		
<b>時間割担当</b>	松岡 律		
<b>実施期</b>	前期	<b>単位数</b>	2 選択
<b>曜日・時限</b>	集中		

### 授業の目標・概要

「生きる力」の育成における生徒指導の意義・目的を理解する。このために、生徒の成長を把握し、学校における生徒指導の位置づけを理解する。また、「自己指導(能力)」の育成を図るための指導内容・方法等の認識を高める。学校・家庭・地域の連携による取組への認識を高め、指導体制等の知識を獲得する。さらに、将来社会の一員としてよりよい社会を形成する生徒たちの進路(自己の生き方)や就労観、職業観にかかわるキャリア教育についても理解する。

### 学習の到達目標

中学校・高等学校における生徒指導・進路指導についてその目的や意義について実践的に考え、学校現場における実践力を身につける。

### 授業方法・形式

それぞれの学習テーマに対して、テキストや補助資料を活用しながら授業を進めていく。  
ペアやグループ学習、取り上げるテーマに関するディスカッション等を行う。

### 授業計画

- 第1回 「生徒指導とは」 生徒指導とは何か、学校教育の中でどのような位置付けなのか、どのような歴史があるのか、どのような考え方を基本としているのかなどについて考える。
- 第2回 「生徒指導と教育課程」 生徒指導と教育課程に基づいて行われる教科、特別活動、総合的な学習の時間などとの関連について考える。(中学校・高等学校教育の観点から)
- 第3回 「生徒理解」 生徒指導を進める上で必要な生徒理解について、その必要性、理解の方法などについて考える。(中学校・高等学校教育の観点から)
- 第4回 「生徒指導の進め方」 生徒指導を進める上で求められる教職員の義務、果たすべき責任、自己研鑽等について考える。(中学校・高等学校教育の観点から)
- 第5回 「いじめ」 現在、学校で大きな課題となっている「いじめ」について、そのメカニズムや対応について考えるとともに、「いじめ」を起こさない教育活動について考える。(中学校・高等学校教育の観点から)
- 第6回 「不登校」 現在、学校で大きな課題となっている「不登校」について、事例に基づいて分析するとともに、指導の在り方について考える。(中学校・高等学校教育の観点から)
- 第7回 「問題行動への対応」 最近の非行の実態、特徴とその社会的背景、なぜ非行に走るのかという非行の心理、非行を起こさせない予防的指導について述べる。(中学校・高等学校教育の観点から)
- 第8回 「生徒指導上の課題」 生徒指導の課題をまとめ、生徒指導の在り方について考える。(中学校・高等学校教育の観点から)
- 第9回 「進路指導とは」 進路指導とは何か、進路指導の意義、教育課程上の位置付け、進路指導の今日的な課題等について総括的に考える。(中学校・高等学校教育の観点から)
- 第10回 「進路指導とキャリア教育 1」 キャリア教育が求められるようになった背景をとらえる。(中学校・高等学校教育の観点から)

### 成績評価の基準

(授業計画の続き)

- 第11回 「進路指導とキャリア教育 2」 キャリア教育が求められるようになった背景をふまえ、キャリア教育のあり方等について考える。(中学校・高等学校教育の観点から)
- 第12回 「ニートとフリーター」 現在、大きな社会問題ともなっているニートとフリーターを題材に、今後のキャリア教育の方向を考える。
- 第13回 「進路指導における生徒理解・自己理解」 進路指導を進める上で求められる生徒理解、生徒の自己理解について分析し、指導の在り方を考える。
- 第14回 「生徒指導・進路指導の課題解決に向けて(進路指導を中心に)」 生徒指導・進路指導上の課題を分析し、今後の指導の在り方を考える。
- 第15回 授業の総括として、これまで身に付けたことについて振り返る。

(成績評価の基準)

- ・授業中に行う活動や小レポート評価し、授業への関心・意欲・態度や理解度を評価する(40%)。
- ・課題レポートにおいて、課題探究の深さ、緻密さ、斬新さなどを評価する(30%)。
- ・学期末テストにおいては総合的な理解を確認する(30%)。

### 授業時間外の課題

授業時に、次回以降の学習テーマについて、予習する内容を具体的に伝える。必要に応じて提出も課する。復習についても同様。

### メッセージ

授業時間内に指示する。

## 教材・教科書

『生徒指導提要』（文部科学省・平成22年3月・教育出版）

## 参考書

授業中に指示する